

■スピーチ日本語要約■

■ Your Paper Consumption 「あなたの紙の使い方」 県立横須賀大津高校3年 大島 美雪

日本の紙の大半は、輸入された木のチップから作られています。オーストラリアでは、一年間で9,500個分のサッカー場と同じ面積のタスマニア原生林を含む森林が伐採されています。そして、そこでつくられたチップの90%は日本へ輸出されています。この森林伐採は深刻な環境問題を引き起こしています。あなたは日本の製紙会社が10年間も製品に含まれるリサイクル紙の含有量を偽っていた事件を覚えていますか。原因は、古紙配合率が高すぎると良い商品には仕上がらないことと、紙の消費に対し生産が間に合わなかったからだと考えられています。日本の国民1人当たりの紙の消費量は年間で1人246,8Kg、よく使うノートで計算したら、1,234冊分が消費されています。私たち日本人は質の高い紙を無駄に使っています。この使い捨ての習慣が、大量の紙消費に結びついています。日本は自国ではなく他国の資源に頼っていて、森林伐採など他国の環境破壊の現実を身近に感じる機会が少ないため、紙を大量に消費するという結果になったのです。もし、あなたの紙への意識が少しでも変われば、地球温暖化などの環境問題を食い止めることができるかもしれません。

■ 「環境と私たち」 米海軍横須賀基地内キニックハイスクール ブルース・ファーマン

私たちは、きれいな環境がほしいです。食べものとか、楽しい生活がしたいですから。でも、環境は今あまりよくありません。なぜですか？ 今、世界で、環境汚染がたくさんあります。そして、地球温暖化もあります。例えば、今、たくさんの川や海が黒くて泳げません。山や森は、汚くて、困っています。環境汚染はハワイから日本まで、みなさんに影響を与えます。私たちは、どうしたらよいのでしょうか？ 私たちは、もっとよい車をつくれるでしょう。私たちは、全部、リサイクルできるでしょう。Yes, we can! 私たちは、できます。そして、世界はもっとよくなり、きれいになっていきます。

■ Food Crisis 「食糧危機」 市立大津中学校3年 佐野 舞

(平成20年度全日本中学生英語弁論大会県大会5位、全国決勝予選出場)

食糧危機とは、大多数の貧しい人々に食糧が不足していて、それが現在、世界の大問題の一つになっているのです。いったい何が原因なのでしょう？ 多くの人が「食べ物がない！」と言いますが、ご存じのように、先進国では多くの食べ物がむだに捨てられています。例えば日本では、たった一か所のコンビニが毎日平均30食の弁当を廃棄していて、合計すれば日本だけで一日に36万食の弁当がむだに捨てられているのです。また、アメリカの「バイオ燃料政策」は、今後10年以内に石油化学燃料を15%バイオ燃料に移行して、石化燃料への依存度を減らすというものです。言い換えれば、食べるはずのトウモロコシを、燃料用エタノールを作るために使うのです。農民の多くは、他の穀物や野菜を作るより、燃料用に高く売るためにトウモロコシを作るでしょう。その結果、穀物の価格が上がります。わずかな人数のお金持ちが豪華な生活を送っている一方で、貧しい人々が飢え、日々死んでいるのです。いまこそ、世界中の人々が食糧を分かち合い、おたがいに助け合う時だと、私は確信します。

■ 世界の子もたち 県立横浜国際高校3年 池田 彩香

(平成20年度神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト2位)

世界では約一億四百万人の子もたちが、貧困のために教育が受けられません。汚染された水を消毒することも知らずに飲んで命を落としたり、人身売買の被害者になって、体を守ることも知らずに HIV に感染し、苦しんでいます。教育の機会さえ与えられれば、その子もたちは救われるのです。私たちは募金をすることや、書き損じはがきを集めて送ることによって、教育の普及に貢献できます。一人の努力が何人もの子もを救うのです。

■スピーチ日本語要約■

■ Personal Globalization 「身近な国際化」 市立横須賀総合高校 2年 名児耶 愛美

「金閣寺はなぜ金色なのか」「ひな祭りや七五三とは何をする事なのか」皆さんは、すぐ答えることができますか？最近「国際化」が盛んに言われています。道を歩いていると違和感なく外国人と出会い、たくさんの外国の企業が進出しています。しかし、自分の国についてよく知らないのに「国際化」していると言えるのでしょうか。外国の人たちと理解し合うためには、お互いに情報を与えあうことが必要不可欠なのです。しかし、そのためにはまず、自分の国についてよく知らなければいけません。私は、日本と日本人についてもっとよく勉強しなければいけないと、今強く感じます。そして、外国の人たちに日本の文化や習慣の良さを伝え、日本に対しての理解を深めてもらうのです。自国を知ることこそ、真の「国際化」に貢献するものなのだと確信しています。

■ The World of "The Tale of Genji" 「源氏物語の世界」 県立横須賀高校 1年 清水 優

女性によって書かれた世界最古の長編物語は、源氏物語だと言われています。この物語に登場する貴族の人たちは、自由に外出できなかったりと、行動に制限がありました。その一方、和歌を詠み、音楽を奏で、優雅な生活を送っていました。特に和歌は、その人の知性や教養を表すもので、貴族社会になくしてはならないものでした。和歌には現代社会との共通点があります。それは、メールです。現代の私たちは、相手と直接会って話すことがなくても、メールでコミュニケーションをとっています。また、源氏物語には、恋愛、友情、別れなど、現代に通ずるお話が数多く描かれているので、今でも私たち日本人に親しまれています。そして、日本が誇るマンガ文化にも影響を与えています。原書は現在私たちが使っている言葉とは違い、理解が難しいので、まずはマンガなどから古典の世界に興味を持つことをおすすめします。これをきっかけに、いろいろな日本の古典文学にふれ、外国で日本文化を紹介する準備を始めてみませんか？

■ 「ブラジルのリサイクル」 県立追浜高校定時制 1年 フェルナンド・ヌネス・広瀬

ぼくはブラジルから日本に来て1年になります。ブラジルもごみの分別に力を入れ、リサイクルをしています。しかし、ブラジルでは、まだ「リサイクル」と言っても何か分からない人も多いです。なぜかというと、学校でリサイクルについて勉強するのですが、学校へ行けない人が多いからです。ブラジルは貧しい国なので、仕事がない人たちは、缶、ビン、ペットボトルなどを拾ってきて、工場などに持っていき、お金をもらうのです。貧しい国ではありますが、なんと、ブラジルはリサイクル率では世界上位の国なのです。なぜならば、リサイクル出来るものの50%は、貧しい人が「お金のため」に集めてくるからです。この「リサイクル」を、こういった人たちの「仕事」として増やすと、リサイクルも進み、働ける人がもっと増えます。「リサイクル」する意味は、豊かな国、貧しい国、それぞれ違うかもしれませんが、でも結果は共通して環境保護につながります。

■ 「環境問題」 米海軍横須賀基地内キニックハイスクール ライアン・スー

みなさんは汚い環境が嫌いでしょう。私たちが住んでいる世界、環境は、一つしかありません。この環境がぼろぼろになっても、代わりの環境はないのです。ですから、環境汚染が続くととても大変です。問題を解決する時は今です。今何もせず、未来に解決しようとしても、遅いのです。みなさんは、すべての環境問題の解決に、協力することができます。私たちができる一つ目のことは、大気汚染を減らすことです。CO2 がたくさん排出されると、大気が汚染され、環境がどんどん悪くなっていきます。CO2 の排出量が少ないエネルギーを使うほうがよいです。車も、CO2 排出量の少ない小さい車を選ぶとよいです。次にできることは、喫煙とごみの問題です。この問題の解決はとても簡単だと思います。体と環境に悪い行為をやめるだけです。もっと環境問題についてみんなで話し合って、問題を解決して、世界をよくしていきましょう。